

2 級 学科試験問題

1. 試験時間 60 分

2. 問題数 50 題 A 群（真偽法 25 題）及び B 群（多肢択一法 25 題）

3. 注意事項

- (1) 携帯電話、腕時計型端末の使用は禁止します。（電源は予め切り、バック等にしまって下さい）。
- (2) 机上に受検票及び筆記用具以外のものを置いてはいけません。
- (3) 電子式卓上計算機、その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (4) 試験官の指示があるまで、この表紙を開けてはいけません。
- (5) 試験官の指示に従って、試験問題のページ数を確認してください。もし、異常があった場合には、黙って手を挙げて下さい。
- (6) 解答用紙はマークシートです。必ず鉛筆又はシャープペンシルを使用して下さい。
- (7) 解答用紙には、等級、受検番号、氏名を必ず記入し、受検番号の欄は、受検区分と受検番号を必ずマークして下さい。
- (8) 試験官の指示に従って、試験を開始して下さい。
- (9) 問題は、A 群（真偽法 25 題）及び B 群（多肢択一法 25 題）の 50 題です。
 - ① 真偽法は、問題の内容が正しいか誤っているかを判断し、解答用紙に正か誤のどちらか一つを記入して下さい。
 - ② 多肢択一法は、問題に対応する選択肢の中で、正解と思う選択肢を一つ選び、解答用紙に記入して下さい。
 - ③ 解答用紙の注意事項を必ず確認し、A 群、B 群の解答欄を間違わないように記入して下さい。
- (10) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げて下さい。ただし、漢字の読み方を含めて、試験問題の内容についてはお答えできません。
- (11) 試験開始後 30 分間は退出できません。30 分経過後に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って下さい。退室後は試験が終了するまで再入室はできません。
- (12) 試験中にトイレに行きたい場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って下さい。
- (13) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、試験官の指示に従って下さい。
- (14) 試験終了後、解答用紙は提出して下さい。問題用紙は持ち帰って下さい。

■ A群（真偽法）

1. 湿式のフラット型モップには、水拭き用と樹脂ワックス塗布用の2種類がある。
2. しみは、局所的に不調和・不快感をもたらす汚れである。
3. LED は、白熱電球より発熱が多い。
4. ごみの中間処理での圧縮処理は、紙くず類だけに用いられる。
5. 汚れは建築物の美しさを損ない、耐久性を阻害して衛生環境にも悪影響を与える。
6. ファネル・エリアとは、ロビーや通路など歩行量・歩行頻度の多い場所を言う。
7. バーナー仕上げとは、石材表面を鏡面状にすることである。
8. 作業計画の作成にあたっては、ムリ・ムダ・ムラがないように注意する。
9. 幅木は、床面と壁面の接合部で床面側の保護目的で取り付ける。
10. 都市における建築物や地下街では、ネズミの中でも圧倒的にドブネズミが多い。
11. 汚れには、人体からの分泌物や排泄物は含まれない。
12. コンポジションビニル床タイルは、バインダー含有率が30%以上である。
13. 建築物衛生法（略称）の規制対象となる特定建築物は、建築物の用途と延べ床面積及び階数により定められる。
14. 弾性床材には、ビニル系、リノリウム系、コルクタイルなどがある。
15. 労働安全衛生規則では、特別教育を修了していない者は、作業責任者の適切な指導のもとで高所作業を行う。
16. 清掃における衛生管理の基本は、ゾーニング管理である。
17. 木質系床材には、フローリングボードやフローリングブロックなどがある。

18. 特定建築物においては、建築物環境衛生管理技術者を選任することが義務づけられている。
19. リノリウム系は、はくり剤やアルカリ性洗剤を使用しても変色しない。
20. トラップのたまり水を封水（ふうすい）という。
21. ビルごみの最終処分は、焼却・資源化・投棄・埋没である。
22. 標準作業量とは、熟練者が一定の時間内に行い得る作業量である。
23. 建築物の構成は、大別すると構造部材と非構造部材とに分けられる。
24. 酸性洗剤に塩素系漂白剤を混合すると、有毒な塩素ガスが発生する。
25. 大理石や花崗岩の碎石を、モルタルで固めたものをセメントテラゾという。

■ B群（多肢択一法）

1. ポリッシャーの取り扱い上の注意に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。
 - イ プラグをコンセントに差し込むときはスイッチを切る
 - ロ 濡れた手で取り扱わない
 - ハ 延長コードの使用は機械の能力を低下させる恐れがある
 - ニ 電力の消費が大きいため漏電ブレーカーを使用する

2. 場所ごとの汚染レベルと利用状況の組み合わせの中で、最も不適切なものはどれか。
 - イ 極重汚染エリア — 玄関・ロビー・エレベータ・トイレ
 - ロ 重汚染エリア — 機械室・守衛室・従業員更衣室
 - ハ 中汚染エリア — 事務所・会議室
 - ニ 軽汚染エリア — 役員室・応接室・上層階の階段・ロッカー室・倉庫

3. 建築物の力学的にみた構造形式の種類について、最も不適切なものはどれか。
 - イ ラーメン
 - ロ 山形ラーメン
 - ハ 小屋根組みアーチ
 - ニ アーチ

4. 2016年に施行された化学物質のリスクアセスメントの実施において、最も不適切なものはどれか。
 - イ 危険性と有害性等の調査と措置
 - ロ 製品安全データシートを熟読する
 - ハ KY活動
 - ニ 安全管理者及び職長教育の内容追加

5. 汚れ物質の説明について、最も不適切な組み合わせはどれか。
 - イ 粉状物質 — 靴などに付着して屋内に持ち込まれた泥土
 - ロ 水溶性物質 — 水に溶解したり分散・懸濁し水分が蒸発し固着する
 - ハ 油溶性物質 — 水になじまない疎水性で汚れが蓄積し薄汚れていく
 - ニ かさ高固着物 — 部分的に顕著な汚れで局所的に不調和・不快感をもたらす

6. トイレ・洗面所清掃作業上の注意事項の中で、最も不適切なものはどれか。
 - イ 清掃道具はトイレ専用とする
 - ロ トイレの清掃では保護手袋を着用する
 - ハ 衛生陶器の洗浄は酸性やアルカリ性の洗剤を使う
 - ニ 排水管などのメッキ部分は乾いたタオルで十分拭き取る

7. 硬性床材の分類として、最も不適切なものはどれか。

- イ テラゾ
- ロ セラミックタイル
- ハ モルタル
- ニ リノリウム

8. 廃棄物の資源を活用する取り組み3R（スリーアール）において、最も不適切なものはどれか。

- イ リユース
- ロ リサイクル
- ハ リメイク
- ニ リデュース

9. ガラスの説明に関する次の記述のうち、最も不適切な組み合わせはどれか。

- イ 型板ガラス — 一般に用いられる透明の板ガラス
- ロ みがき板ガラス — 表面が平滑に仕上げられてあり、光の屈折が少ないもの
- ハ すり板ガラス — 砂ずりによってつや消しにした不透明ガラス
- ニ 網入りガラス — 金網や鉄線を入れてあり、丈夫にしたもの

10. 建築物環境衛生空気管理基準の項目として、最も不適切なものはどれか。

- イ 浮遊粉じんの量
- ロ 二酸化炭素の含有率
- ハ 相対湿度
- ニ 気圧

11. ビルクリーニングの除去対象となるほこりで、最も不適切なものはどれか。

- イ 床に沈積・付着している粒子
- ロ 什器類に堆積している粒子
- ハ 窓ガラスに固着している粒子
- ニ 室内に浮遊する微粒子

12. トラップの基本形について、最も不適切なものはどれか。

- イ 管トラップ
- ロ 円トラップ
- ハ ドラムトラップ
- ニ わんトラップ

13. 廃棄物排出者の責任に関して、最も不適切なものはどれか。
- イ 生活系廃棄物の処分は各家庭の責任となる
 - ロ 事業系廃棄物は排出者自らの責任で適正に処理する
 - ハ 産業廃棄物の処理は許認可を受けた業者に委託する
 - ニ 産業廃棄物処理業者に対してマニフェストを発行する
14. 給水設備の給水方式について、最も不適切なものはどれか。
- イ 高置水槽方式
 - ロ 増圧直結方式
 - ハ 低置水槽方式
 - ニ 直圧方式
15. 「ゴンドラ取り扱い業務特別教育規定」に関する規定のうち、最も不適切なものはどれか。
- イ 学科教育についてのみ規定されている
 - ロ ゴンドラに関する知識
 - ハ 操作に必要な電気に関する知識
 - ニ 関係法令
16. 建築物衛生法の規制対象となる特定建築物用途の中で、最も不適切なものはどれか。
- イ 興行場
 - ロ 集会場
 - ハ マンション
 - ニ 事務所
17. カーペット繊維の分類で合成繊維として、最も不適切なものはどれか。
- イ レーヨン
 - ロ ナイロン
 - ハ ポリエステル
 - ニ アクリル
18. 事業登録の説明の中で、最も不適切なものはどれか。
- イ 登録は営業所ごとに行われる
 - ロ 登録の有効期間は6年である
 - ハ 登録業種は6業種である
 - ニ 建築物清掃では「建築物清掃業」と「建築物環境衛生総合管理業」がある

19. 照明器具について、最も不適切なものはどれか。
- イ 天井付け型
 - ロ 壁付け型
 - ハ 床置き型
 - ニ スタンド型
20. 建築物各部位の清掃上の特徴で、最も適切なものはどれか。
- イ 床は、清掃の目的のうち保全に重点がおかれる
 - ロ 壁面は、清掃の目的のうち美観に重点がおかれる
 - ハ 扉は、清掃の目的のうち安全に重点がおかれる
 - ニ 什器備品は、清掃の目的のうち衛生に重点がおかれる
21. すべり（転倒）災害の防止に関する次の記述のうち、最も不適切な組み合わせはどれか。
- イ すべりやすい条件を減らす — 床面と足裏との摩擦係数を小さくする
 - ロ 適切な作業行動をとる — ポケットに両手を入れて歩かない
 - ハ 通路を確保する — 利用する通路の什器等は片づける
 - ニ 事前対策を取る — 安全性の高い作業工程に変更する
22. 作業計画と安全作業に必要な事項の中で、最も不適切なものはどれか。
- イ 作業効率を第一に作業計画を作成する
 - ロ 作業環境の点検及び整備を行う
 - ハ 準備・段取り・確認を十分に行う
 - ニ 安全の重要性を熟知徹底する
23. ネズミおよび害虫の説明で、最も適切なものはどれか。
- イ クマネズミは、他の屋内性ネズミより繁殖力が旺盛である
 - ロ ビル内に存在するのは、チャバネゴキブリとクロゴキブリの2種類がほとんどであり、特にクロゴキブリが多くみられる
 - ハ チカイエカは、ビルの地下や、汚水槽・排水槽・し尿浄化槽などに発生する
 - ニ チョウバエは、地下の汚水槽・し尿浄化槽には発生しない
24. 床用パッドに関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。
- イ 緑色パッドは茶色パッドより粗い
 - ロ パッドはナイロンなどの不織布に鉱物性の研磨剤を付着させたもの
 - ハ 茶パッドの主な用途は、表面洗浄作業である
 - ニ 青パッドは光沢復元作業に最も適している

25. カーペット製造方法の分類の中で、機械織りのカーペットはどれか。

イ タフテッドカーペット

ロ タイルカーペット

ハ ウィルトンカーペット

ニ ニードルパンチカーペット

2級 学科試験問題

< 正 解 >

A群 真偽法	
設問	解答
1	正
2	正
3	誤
4	正
5	正
6	誤
7	誤
8	正
9	誤
10	誤
11	誤
12	誤
13	誤
14	誤
15	誤
16	正
17	正
18	正
19	誤
20	正
21	正
22	誤
23	正
24	正
25	正

B群 多肢択一法	
設問	解答
1	ニ
2	ロ
3	ハ
4	ハ
5	ニ
6	ハ
7	ニ
8	ハ
9	イ
10	ニ
11	ニ
12	ロ
13	イ
14	ハ
15	イ
16	ハ
17	イ
18	ハ
19	ハ
20	ニ
21	イ
22	イ
23	ハ
24	ロ
25	ハ